

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【七里小学校】

| ⑥ 次年度への課題と改善策 |   |
|---------------|---|
| 知識・技能         | 分析結果から、本校児童の実態にあった本校教員作成の「学力向上ワークシート」を作成改善し、それを使って繰り返し学習させたり、既習内容をさかのぼって学習させたりすることで、計算の解き方や漢字の書き取りを定着させる。今年度と同様に、学習にふさわしい環境整備をし、話の聞き方や授業中の姿勢などの学習規律を徹底させる。来年度は、基礎学力タイムや読みや聞き取りタイムを設け「ことばへの気づき」を促し、母語への知識を高める。                           |
| 思考・判断・表現      | 児童一人ひとりが、主語になるような授業づくり(例:複線型授業、個別最適な授業、学習課程の工夫等)を行う。低学年から、児童が自分の考えをより深めるための手立てとして、「分類する」「比較する」「関係づける」「批判的、複合的に考える」等考えを整理するための方法を使えるようにしていく。特に書く活動や自分の考えを伝え合う活動を積極的に取り入れる。また、引き続き、読解力を向上させるために、どの教科においても「つなげて読む」「比べて読む」「重ねて読む」を授業に取り入れる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 今後も、授業において、児童とともに必要感のある課題を設定して、児童が主体的に課題を解決する場を設定したり授業後半で振り返りタイムを設定したりすることで、見通しをもって、個別に、または、協働的に課題解決ができるようマネジメントしていく。学校課題研修の研究の視点をより意識した授業を展開することで、教員の資質を向上させ、授業を改善させる。   |

| ① 目標・策        |  |  |
|---------------|--|--|
|               | 目標   | 策  |
| 知識・技能         | R5年度さいたま市学習状況調査の国語・算数の「知識・技能」において、自校調査結果を(O)(△)にする。【R4年度:3年国(▼)算(▼)4年国(O)算(△)5年国(▼)算(▼)6年国(▼)算(▼)】   | ⇒<br>・本校教員作成の「学力向上ワークシート」を改善し、それを使って繰り返し学習させ、計算や漢字の習熟を図る。児童の実態に応じて、既習内容をさかのぼって学習させる。<br>・学習にふさわしい環境整備をし、話の聞き方や授業中の姿勢などの学習規律を徹底させる。<br>・「ことばへの気づき」を促し、母語への知識を高める。                       |
| 思考・判断・表現      | R5年度さいたま市学習状況調査国語・算数の「思考・判断・表現」において、自校調査結果を(O)(△)にする。【R4年度:3年国(▼)算(▼)4年国(△)算(△)5年国(▼)算(▼)6年国(▼)算(▼)】 | ⇒<br>・課題について考えを整理するための思考ツールを上手に使い分けられるようにする。課題に応じて効果的な思考ツールを伝え、学習する。<br>・授業において、書く活動や自分の考えを伝え合う活動を積極的に取り入れる。誰もが理解できるような表現ができていくかを客観的に見直しができる授業展開をする。<br>・思考は母語で考える。母語の知識が高まれば、思考力も高まる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。                         | ⇒<br>・授業において、児童とともに必要感のある課題を設定したり、児童が問題を発見したりして、児童が主体的に課題を解決する場を設定する。また、授業中に必ず自己の振り返りができる時間を設定する。<br>・教員の資質を向上させ、授業改善し、「わかった、できた喜び」が味わえる授業やわかる授業を展開する。                                 |

<小6・中3>(4月~5月)

| ⑤ 目標・策の達成状況   |   | 評価(※) |
|---------------|---|-------|
| 知識・技能         | R5年度さいたま市学習状況調査の結果は、3年国(▼)算(▼)4年国(O)算(▼)5年国(O)算(△)6年国(▼)算(▼)であった。                           | C     |
| 思考・判断・表現      | R5年度さいたま市学習状況調査の結果は、3年国(▼)算(▼)4年国(△)算(△)5年国(▼)算(△)6年国(▼)算(▼)であった。                           | C     |
| 主体的に学習に取り組む態度 | R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目について、肯定的な回答をした割合は、81.2%であった。(市平均90.45%) | A     |

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

| ② 全国学力・学習状況調査結果・分析 |  |
|--------------------|--|
| 知識・技能              | 全国と自校の平均正答率を比較した結果、国語-3, 2pt, 算数-9, 2ptであった。国語の漢字を書いたり、選んだりする問題での正答率が低かった。算数では、百分率で表された割合についての正答率が低かった。語彙指導や四則計算等の基礎学力向上に向けての取組を重視したい。 |
| 思考・判断・表現           | 全国と自校の平均正答率を比較した結果、国語+2, 4pt, 算数-7, 3ptであった。国語では、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること、算数では、条件の多い問題についての求め方を答えることでの正答率が低かった。             |
| 主体的に学習に取り組む態度      | R5年度全国学力・学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目の肯定的な回答の割合は、74%であった。より、一層子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。                                   |

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

| ④ さいたま市学習状況調査結果・分析 |  |    |   |
|--------------------|--|----|---|
| 小3                 | 国語では、主語と述語の関係を理解していることを確かめる問題と話の中心を相手に伝える伝え方について課題がみられ、市の正答率より10%以上低かった。算数では、小数の減法の計算、数直線上の大きさの理解、立体の構成、時刻の求め方について、課題がみられ、市の正答率より10%以上低かった。  | 小4 | 国語では、前年度課題がみられた主語述語の関係を理解していることを確かめる問題が、市の正答率より約7%上回った。話の中心を聞き手に伝えるための話し方を理解しているか確かめる問題は、市の正答率を上回り、91.5%であった。算数では、3位数の乗法や除法や角の大きさを判断することに課題がみられる。         |
| 小5                 | 国語では、前年度課題がみられた主語述語の関係を理解していることを確かめる問題が、市の正答率より約17%上回った。相手や場面に応じて、適切に敬語を使えるか確かめる問題に課題がみられる。算数では、小数の乗法の計算や平均を求める問題は、正答率が80%を超え、市正答率より上回った。単位数あたりの大きさを用いて、こみ具合を比べる問題と小数の除法は、課題がみられる。 | 小6 | 国語では、漢字を文の中で正しく使うことや敬語を使うこと、自分の考えを伝えるように表現を工夫すること、助言することに課題がみられる。算数では、数量が変わっても割合は変わらないことは、市正答率よりも22.7%も上回っている。基準量・比較量・割合の関係やグラフを読み取ったり、まとめたりすることに課題がみられる。 |

| ③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後) |      |  |
|----------------------------|------|--|
|                            | 目標   | 策  |
| 知識・技能                      | 変更なし | ⇒ 変更なし   |
| 思考・判断・表現                   | 変更なし | ⇒ 上記に加える<br>読解力を向上させるために、どの教科においても「つなげて読む」「比べて読む」「重ねて読む」を授業に取り入れる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度              | 変更なし | ⇒ 変更なし   |